

## 環境・農水常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成29年7月26日(水)

### 2 調査の概要

#### (1) 草津市矢橋町および烏丸半島北岸

琵琶湖に生育する侵略的外来水生植物（オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ等）は近年、琵琶湖および周辺水域で生育面積が急速に拡大している。これにより水質や水産資源への悪影響等が懸念されることから、県では毎年大規模な駆除事業を実施しているところである。

こうしたことから、侵略的外来水生植物の現状と機械での駆除作業および人力駆除作業について、調査を行った。



#### (2) JA東びわこ農協共同選果施設「果樹工房」（彦根市石寺町）

彦根梨生産組合の皆さんとの県民参画委員会

彦根市石寺地域では昭和56年に梨栽培を開始され、平成9年のほ場整備事業を契機に彦根梨生産組合を設立された。平成28年度に国の事業を活用し、外部および内部品質センサー付き選果機を導入されたことにより、高品質の果実の安定出荷を実現されている。

また、GI（地理的表示）取得による「彦根梨」のブランド化を目指した取り組みをされていることから、「果樹工房」施設の概要の調査および、彦根梨生産組合の皆さんと彦根梨のGI取得に向けた取り組みについて県民参画委員会を開催し、意見交換を行った。



(3) 荒神山山麓 太陽光発電設備施設 (彦根市日夏町)

近年、再生可能エネルギーの利用の観点から農地や林地を開発して太陽光発電設備を設置する例が増えている。

持続可能な発展のためには再生可能エネルギーの活用が必要とされている一方で、今後大規模な林地開発による設備施設の設置の可能性もあることから、既設置の施設の概要および周辺の林地の状況等の調査を行った。

